TOTO

小型電気温水器用外付けウィークリータイマー

RHE657型 / RHE658型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や商品に表示して、工事業者の方に安全に正しく商品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
⃠	一般的な禁止	⏚	アースを接続せよ	❗	必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付き）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない （感電や故障などの原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない （感電や故障の原因になります。）
禁　止	屋内用のため、屋外には設置しない（感電や故障の原因になります。）
	指定する電源以外では使用しない （ヒーターの断線・火災などの原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない （感電・火災の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない （火災の原因になります。）
	水･油･洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない （感電の原因になります。）
アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う　また、漏電遮断器を取り付ける（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

1 安全上の注意（つづき）

⚠警告

必ず実行	漏電遮断器を取り付ける （感電や火災の原因になります。）
	電源プラグを差し込むときは、根元までしっかり差し込む （火災の原因になります。）
	コンセントにはウィークリータイマー以外の器具のプラグを差し込まない （火災・故障の原因になります。）
	中継コードに接続する際は、必ず電源コードを抜く （感電の原因になります。）

⚠注意

禁　止	商品に強い力や衝撃を与えない （破損してけがをしたり、故障の原因になります。）
必ず実行	施工後、長時間使用されない場合は、電源プラグを抜く （安全のために電源プラグを抜いてください。）

お ね が い

施工上の責任は、当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不具合が生じた場合、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお引渡し日を必ず記入してください。

RHE658型のみ
- このウィークリータイマーで凍結防止ができるのは電気温水器・自動水栓のみです。止水栓・止水栓から電気温水器までの配管・その他の露出給水配管には、凍結予防のため、すべて保温材を巻いてください。特に冷えこみの厳しい地域では、電熱ヒーターを巻くなど適切な凍結予防処置をしてください。
- タイマーにて気温を測定して凍結防止運転をします。外気温が測定できる位置にタイマーを設置してください。

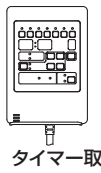
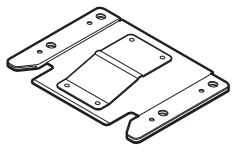
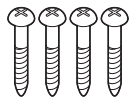
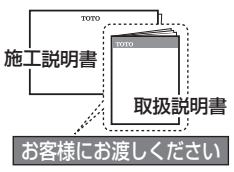
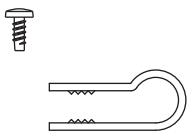
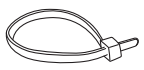
施工前に必ず確認ください

接続できる小型電気温水器

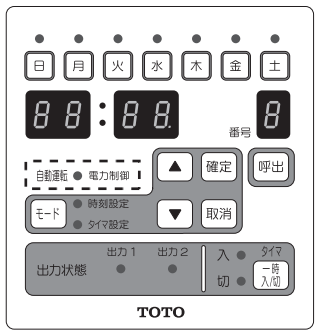
電気温水器		RHE657型	RHE658型
REA*03A型 ※1		○（2台まで）	○（2台まで）
REA*03B型	末尾 B11	○（2台まで）	○（2台まで）
	末尾 B11R ※2	×（セットできません）	×（セットできません）
	末尾 B1,B1R ※1,2	×（セットできません）	×（セットできません）
REA*06型		○（2台まで）	○（2台まで）
REWF03型 ※1		○（2台まで）	×（セットできません）
REB03･REBH03型			
RES型			
REM型			
RESK型			
RE01型(REA01,RE01M)			
魔法びん電気即湯器			

TOTO製小型電気温水器とのセットで使用してください。
※1：おまかせ節電付タイプとは、制御上セットできません。
※2：品番末尾にアルファベットのある品番は、制御上セットできません。

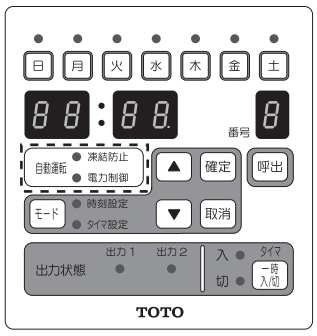
2 部品の確認

①ウィークリータイマー	②タイマー固定板	③取付ねじ (木ねじφ4.1×32)×4	④取扱説明書 ⑤施工説明書
 タイマー取付板付			
⑥アクアオート用電源コード	⑦ナイロンクランプ×1 ⑧ねじ×1（φ4×10）	⑨結束バンド	⑩ビニタイ×2
※1	 ※2	 ※3	※4

※1：REA*03B11、REA*06型、REA01のみ使用
※2：REA*03A型、REA*06型のみ使用
※3：REA*06型、REA01型のみ使用
※4：REA01型のみ使用

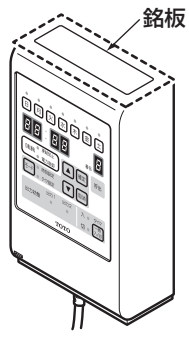


RHE657型
（標準タイプ）



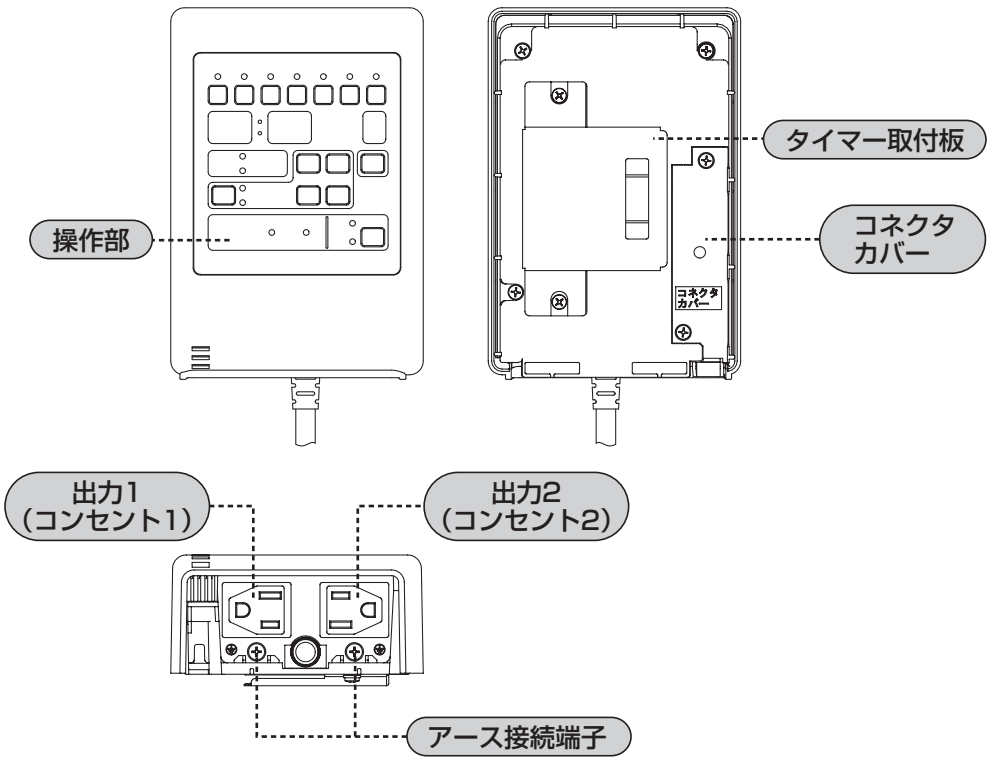
RHE658型
（凍結防止機能搭載タイプ、REA*03A型、REA*03B11、REA*06型専用）

品番は、銘板に記入していますので確認してください。



タイマー天面
定格銘板貼付位置

3 各部の名称



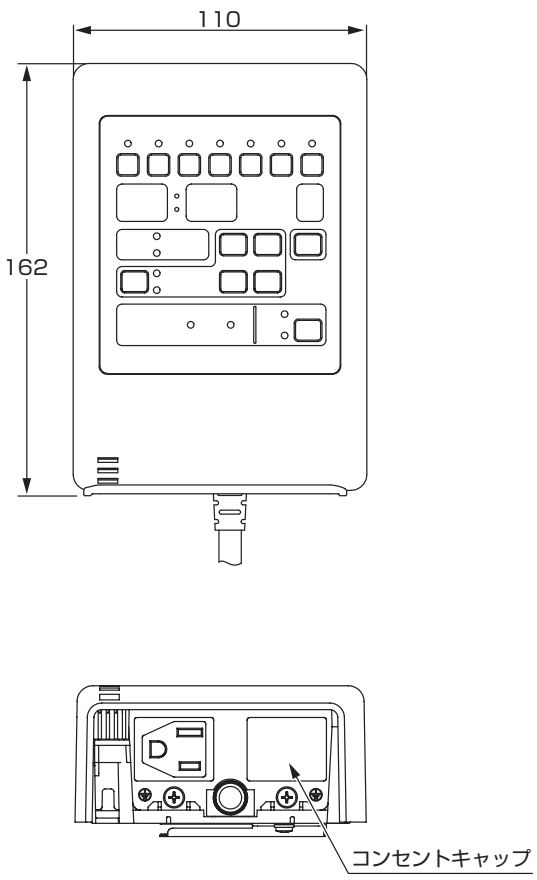
4 仕様

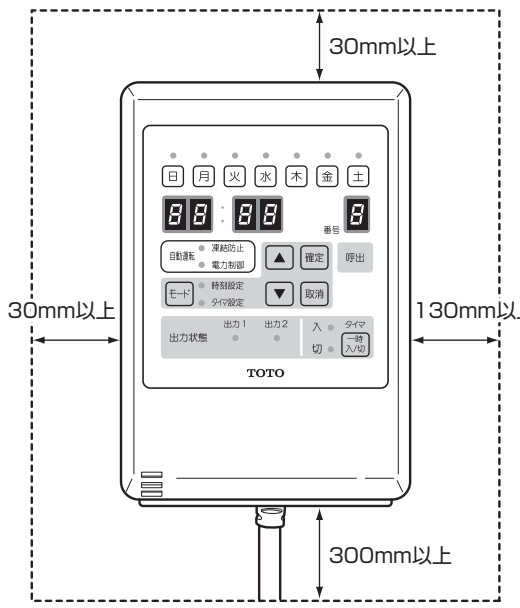
タイプ		標準タイプ	凍結防止機能搭載タイプ
品番		RHE657型	RHE658型
定格	電圧	AC100V	
	電流	14A	
	電源プラグ	125V 15A	
	周波数	50Hz、60Hz共用	
出力		AC100V 14A 2口※1	
アクアオート専用電源		AC100V 2口	
設置方法		壁面に固定板により固定	
外形寸法（幅×奥行き×高さ）		110mm×52mm×162mm	
製品質量		約620g	
使用可能雰囲気温度		−10〜40℃	
電源コード長さ		0.4m	

※1：片側に接続できる電気温水器は最大7Aまでです。
また、1台のみを接続する時は、必ず「出力1」側に接続してください。

5 寸法図

ウィークリータイマー

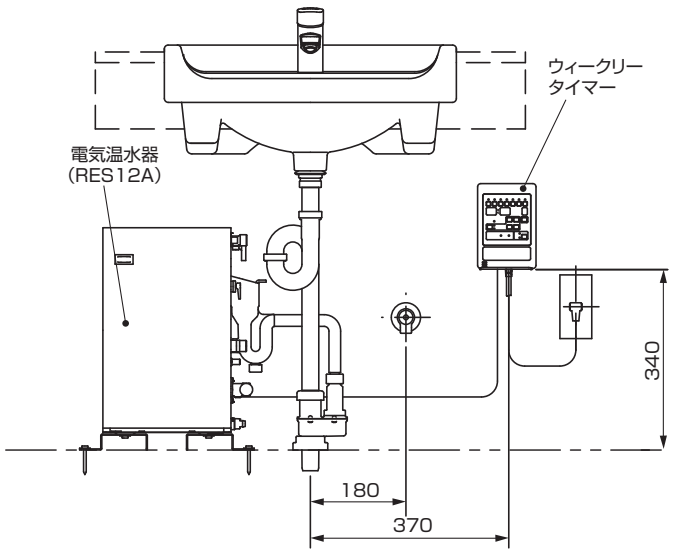




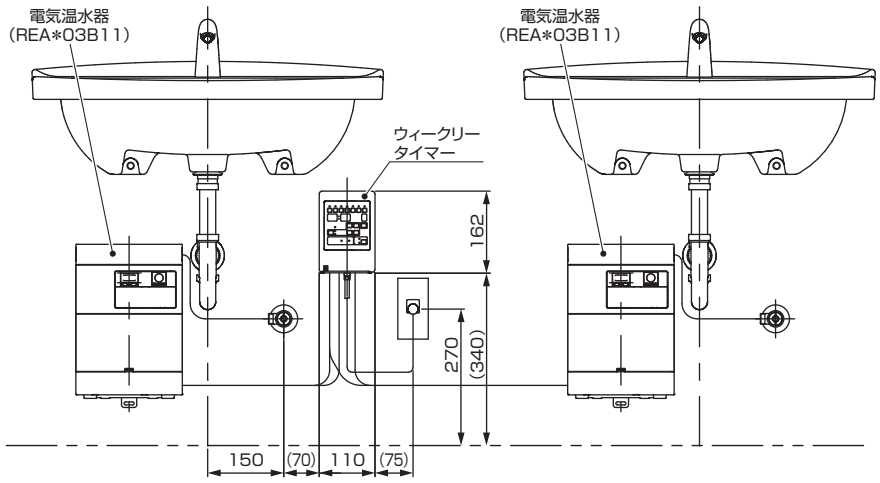
施工およびメンテナンス時の対応のため、
上記スペースが必要になります。

6 施工例

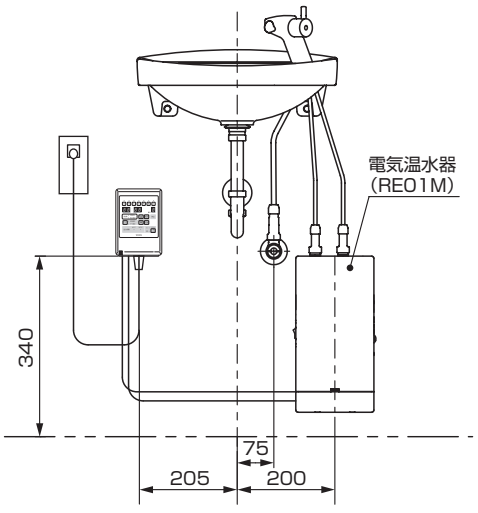
RES



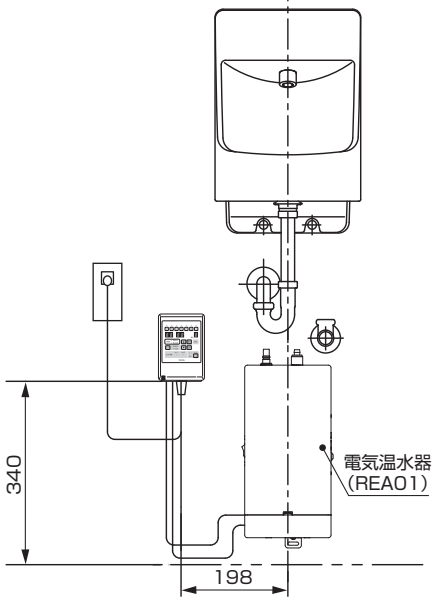
REA*03B11を2台取り付ける場合



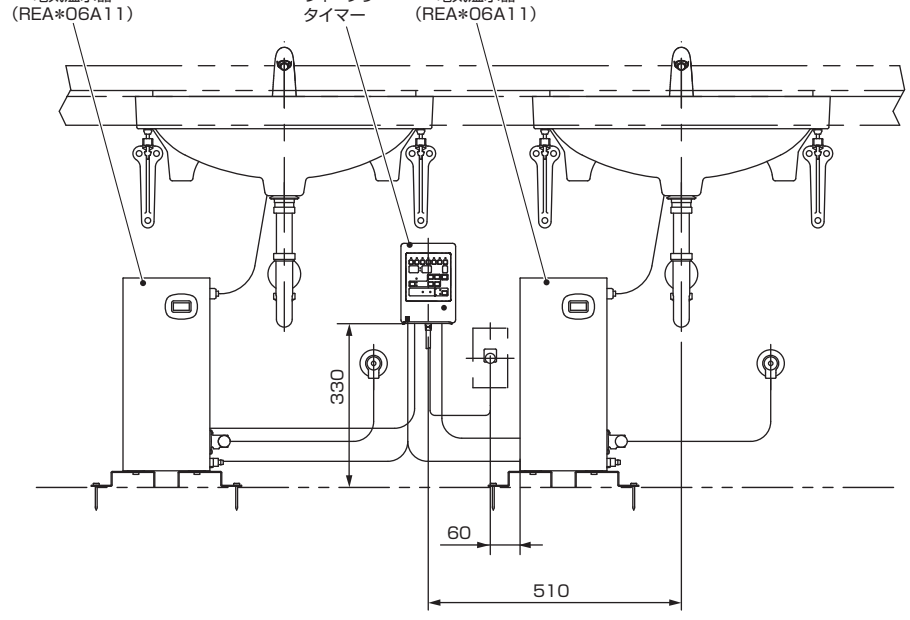
RE01M



REA01



REA*06型を2台取り付ける場合



7 取付手順

注意 自動水栓一体形電気温水器とセットする場合は、先に「(4)アクアオート用電源コードの取り付け作業」を行ってください。

下記順番で、取付作業を行ってください。

自動水栓一体形電気温水器の場合
(4) → (1) → (2) → (3) → (5)

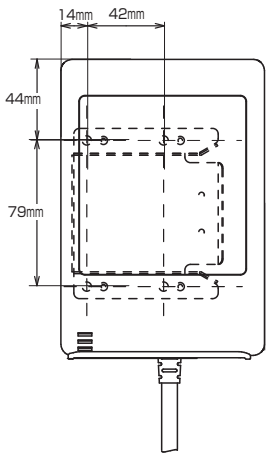
自動水栓一体形電気温水器以外の場合
(1) → (2) → (3)

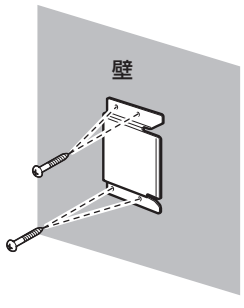
(1) ウィークリータイマーの取り付け

①壁面にタイマー固定板を付属の取付ねじ（木ねじφ4.1×32）で固定する。（4カ所）

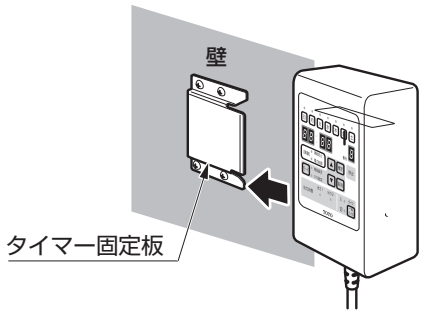
注意 取り付け位置は、電気温水器の電源コード長さを確認の上決定ください。

木ねじ取り付け寸法





②タイマー固定板と壁との間にタイマー取付板を入れる。
※カチッというまで押し込んでください。



(2) 配線処理の方法

・機台外のコードに余裕がある場合は、市販のコードフックなどで壁などに固定する。
使用時や掃除などのじゃまにならないよう処置してください。

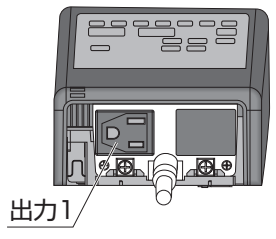
(3) 電気温水器の接続

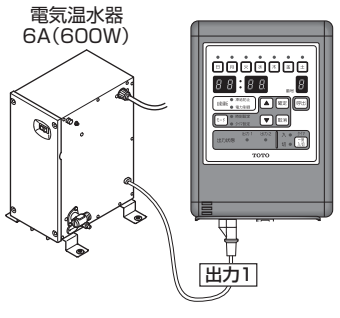
①電気温水器の電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

注意 電気温水器が空の場合、空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

②電気温水器の電源プラグを、出力1、出力2に差し込む。

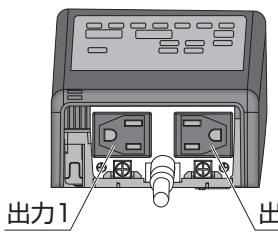
＜電気温水器1台に取り付ける場合＞

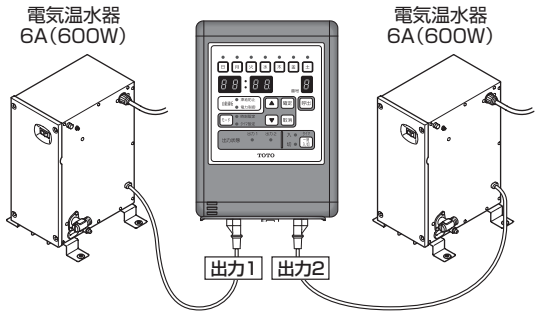




※1台のみ接続する場合は、出力1に接続してください。

＜電気温水器2台に取り付ける場合＞





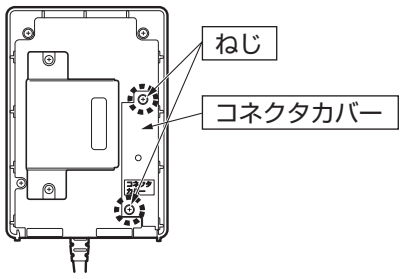
7 取付手順（つづき）

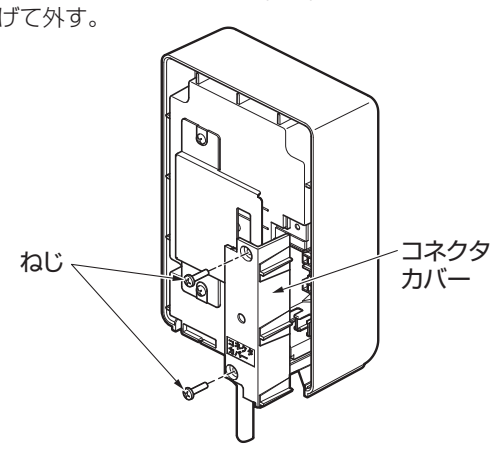
自動水栓一体形電気温水器の場合

注意 アクアオート用電源コードを必ず取り付けてください。
取り付けていないと、アクアオートが作動せず、吐水ができません。

（4）アクアオート用電源コードの取り付け ＜外部タイマー側＞

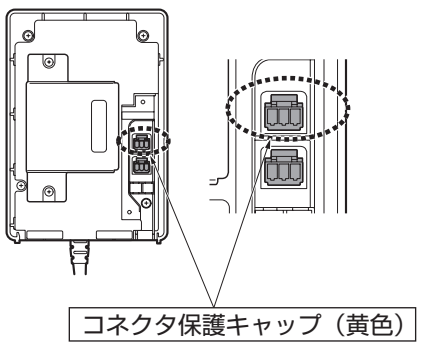
①ウィークリータイマー背面のコネクターカバーを固定しているねじ（2個）を取り外す。
その後、コネクターカバーを垂直に持ち上げて外す。





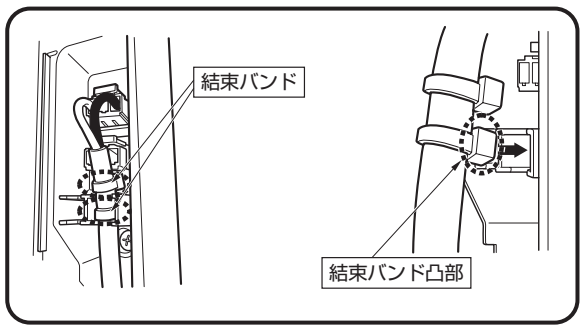
注意 コネクタカバーを外す際は、カバーを破損しないように外してください。

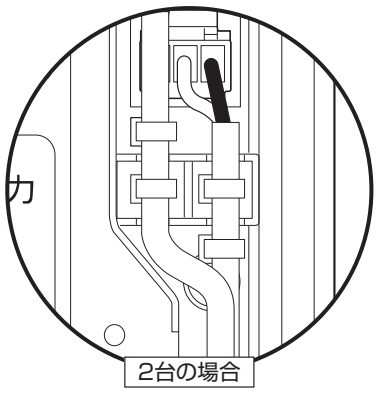
②黄色のコネクタ保護キャップを外し、アクアオート用電源コード（付属）のコネクタを差し込む。
※取り外したコネクタ保護キャップは不要のため捨てる。
・1台設置の場合：必ず上側に接続する。
・2台設置の場合：上下2本接続する。



注意 コネクタはカチッと音がするまで
確実に差し込んでください。

③アクアオート用電源コード（付属）の結束バンド凸部をケースの溝に引っ掛ける。





④コネクタカバーをねじ（2個）で固定する。
（電動ドライバーなどを使わずに手で締めてください。）

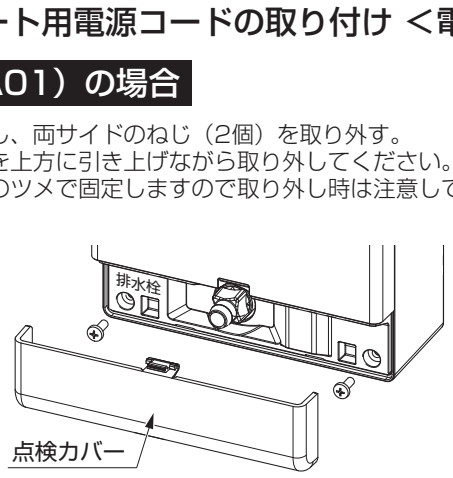
注意 カバーを取り付ける際は、コードを
かみ込まないようにしてください。

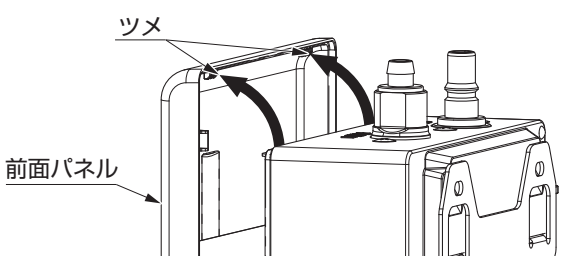
7 取付手順（つづき）

（5）アクアオート用電源コードの取り付け ＜電温本体側＞

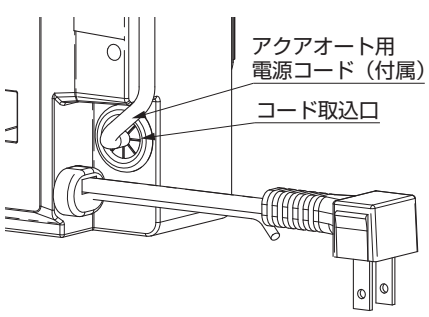
RE01型（REA01）の場合

①点検カバーを取り外し、両サイドのねじ（2個）を取り外す。
その後、前面パネルを上方に引き上げながら取り外してください。
（前面パネルは上部のツメで固定しますので取り外し時は注意してください。）



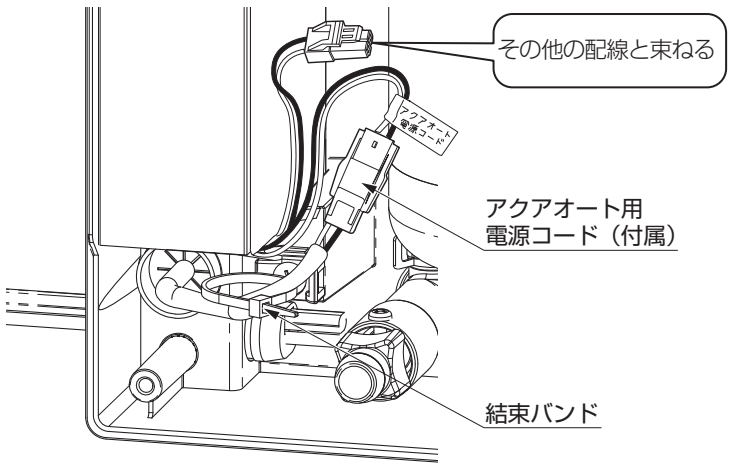


②アクアオート用電源コード（付属）を背面のコード取込口から電気温水器本体内部へ差し込む。



③アクアオート用電源コード（電気温水器側）のコネクタを外し、外したコネクタ（ラベルが付いた側）と②で差し込んだアクアオート用電源コード（付属）のコネクタを接続する。
（外したコネクタは、ビニタイで束ねられているその他の配線と一緒に束ねてください。）

④アクアオート用電源コードを、センサーコードなどと一緒に結束バンドで固定する。



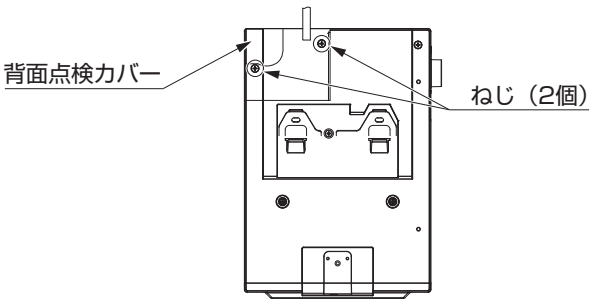
注意 コネクタはカチッと音がするまで
確実に差し込んでください。

7 取付手順（つづき）

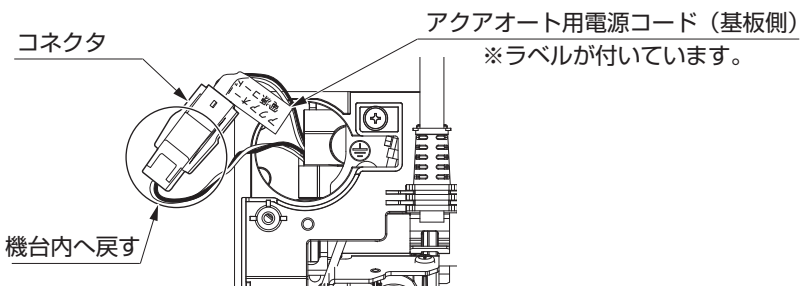
（5）アクアオート用電源コードの取り付け ＜電温本体側＞

REA*03A型の場合

①電気温水器背面のねじ（2個）を外し、背面点検カバーを取り外す。

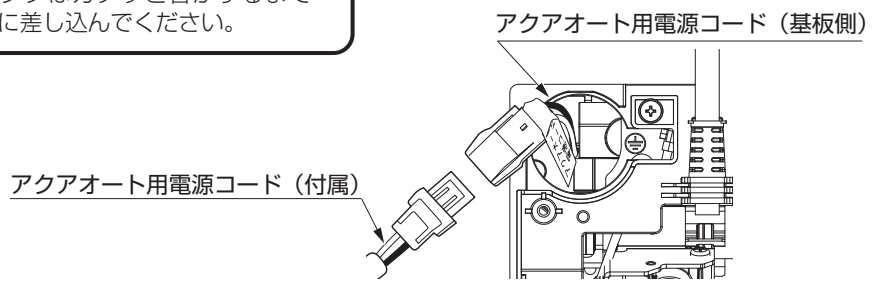


②アクアオート用電源コード（基板側）のコネクタを引き出し、コネクタを外す。
外したアクアオート用電源コード（基板側）を残し、一方は機台内へ戻す。



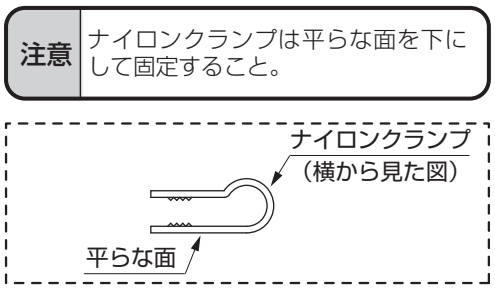
③アクアオート用電源コード（付属）と接続する。

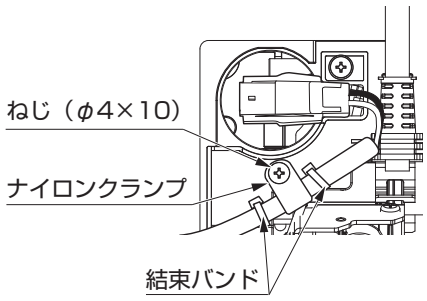
注意 コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



④付属のナイロンクランプとねじを用いて、アクアオート用電源コード（付属）の結束バンド間を固定する。

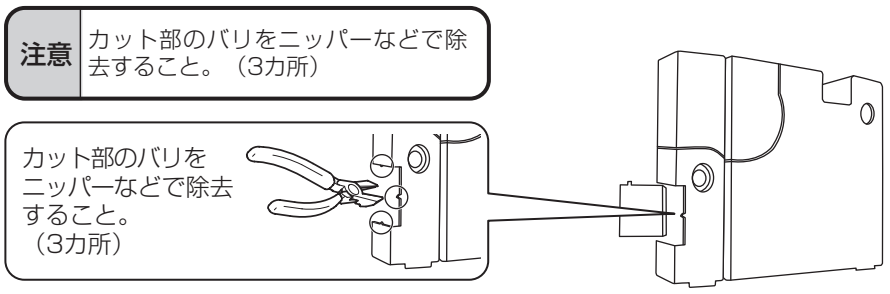
注意 ナイロンクランプは平らな面を下にして固定すること。





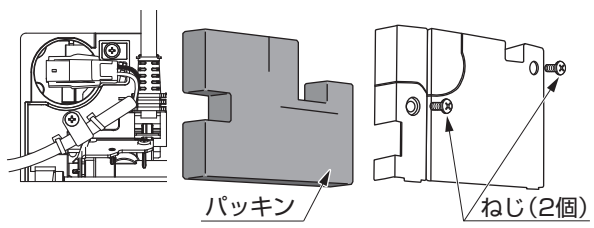
⑤背面点検カバーのコード取り出し部を切り離す。

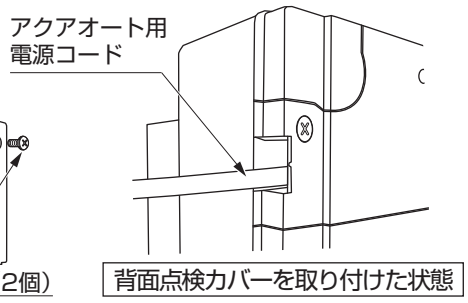
注意 カット部のバリをニッパーなどで除去すること。（3カ所）



⑥背面点検カバーを電気温水器本体に取り付ける。

注意 元々ついていたパッキンを忘れずに取り付けてください。



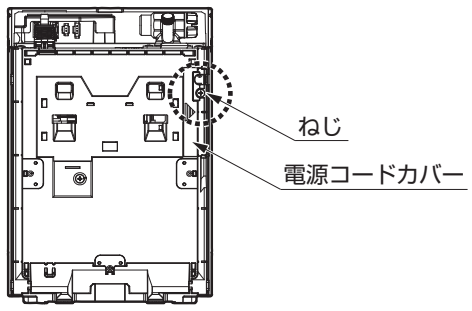


7 取付手順（つづき）

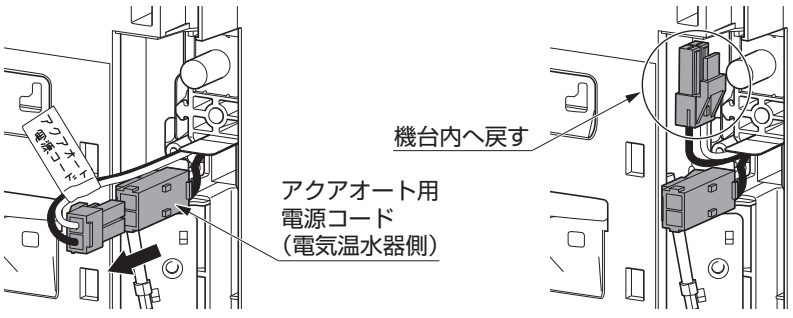
（5）アクアオート用電源コードの取り付け ＜電温本体側＞

REA*03B11の場合

①電気温水器背面のねじ（１個）を外し、電源コードカバーを取り外す。

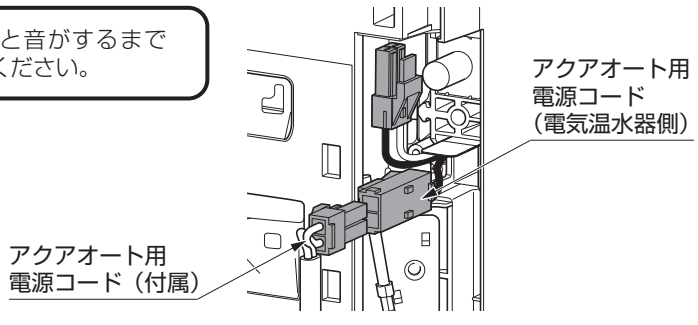


②アクアオート用電源コード（電気温水器側）のコネクタを引き出し、コネクタを外す。
外したコネクタ（ラベルが付いた側）は機台内へ収納する。

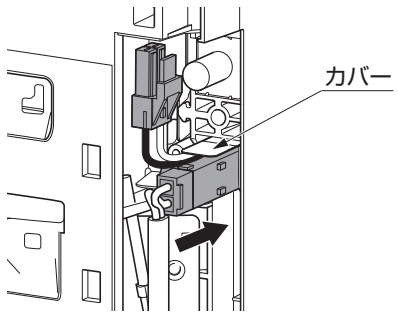


③外した一方のコネクタと、アクアオート用電源コード（付属）を接続する。

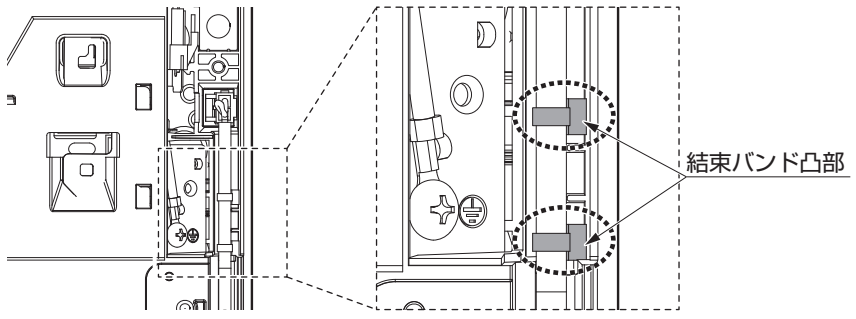
注意 コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



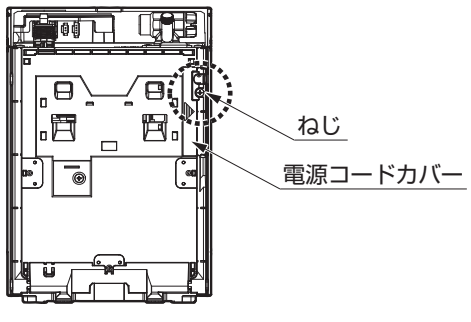
④接続したコネクタを電気温水器（カバー内）へ戻す。



⑤接続したアクアオート用電源コード（付属）の結束バンド凸部をケースの形状に合わせて収納する。



⑥電源コードカバーを取り付ける。

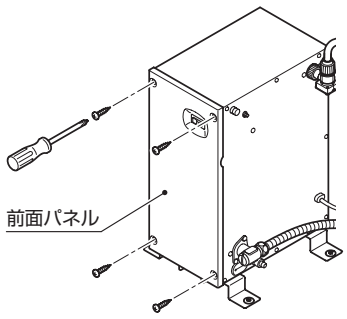


7 取付手順（つづき）

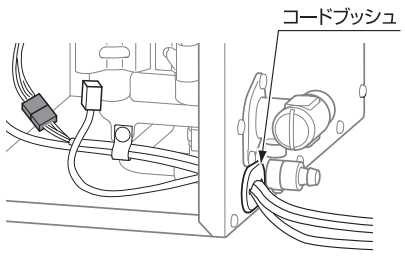
（5）アクアオート用電源コードの取り付け ＜電温本体側＞

REA*06型の場合

①ねじ4箇所を取り外し、前面パネルを外す。

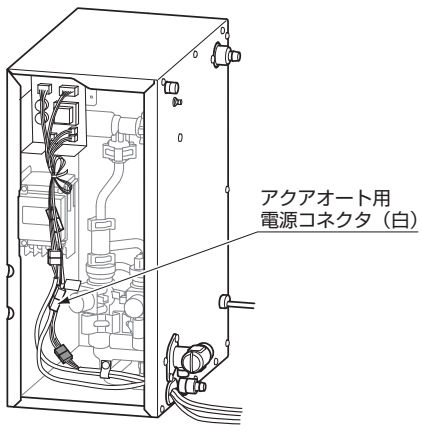


②アクアオート用電源コード（付属）をコードブッシュに通し、電気温水器内部へ引き込む。



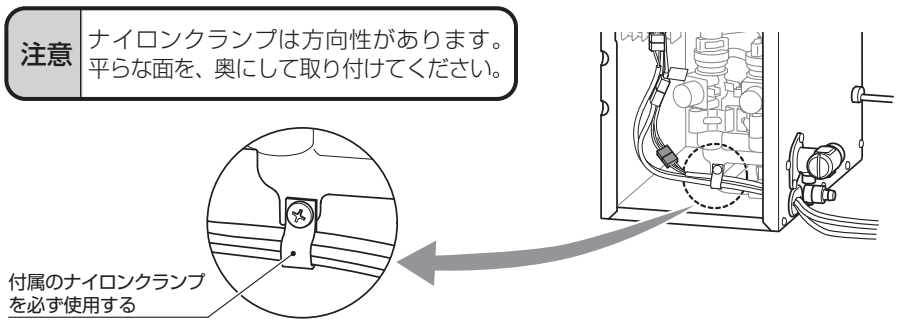
③アクアオート用電源コード（電気温水器側）のコネクタを外し、②で引き込んだコードと外したコネクタ（ラベルが付いた側）を接続する。
※外したコネクタは、そのままで問題ありません。

注意	コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

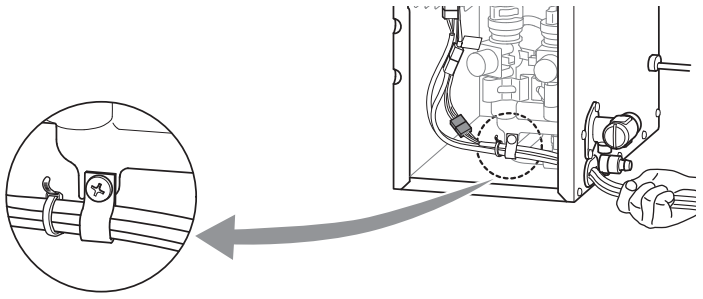


④付属のナイロンクランプを用いて、スパウトからのコードとアクアオート用電源コードを固定する。
※ナイロンクランプを取り替えずに固定すると、コードが断線することがあります。

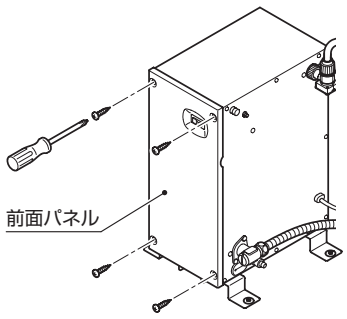
注意	ナイロンクランプは方向性があります。 平らな面を、奥にして取り付けてください。



⑤機台外からコードを軽く引っ張り、コードが動かないことを確認する。
※コードが動く場合は、付属の結束バンドでアクアオート用電源コードをスパウトからのセンサーコードと一緒に固定する。



⑥前面パネルを取り付ける。

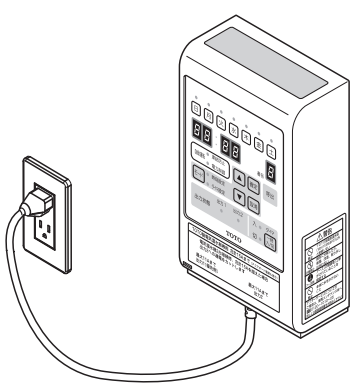


8 電気工事

⚠ 警告	
⏚	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース工事（D種接地工事100Ω以下）を行う （誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）
❗	漏電遮断器を取り付ける （感電や火災などの原因になります。）
⃠	指定する電源以外では使用しない （火災などの原因になります。）

1）電源が規定の電圧であることを確認する。
2）接地極付電源プラグになっているので必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

9 試運転

①ウィークリータイマーのコンセントプラグを壁側のコンセントに接続する。
②表示部に現在時刻が表示されていることを確認する。

※3分間スイッチ操作がないと時刻表示および曜日ランプが省エネ表示（消灯）になります。
表示が消えている場合は、一度どれかスイッチを押すことにより省エネ表示が解除され、時刻表示および曜日ランプが点灯します。
※ウィークリータイマーのコンセントを差した時に曜日と時刻表示が点滅する場合は現在時刻の設定を行ってください。
設定方法は取扱説明書P10をご確認ください。